学校番号	3005

令和２年度　　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位／４単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　最新　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	改訂版教科書傍用 3ROUND 数学Ⅱ（数研出版） エディノート 改訂版数学Ⅱ（啓林館）　（総合募集の専科） 改訂版　書き込み式シリーズ[標準]教科書傍用Ｓｔｕｄｙ―Ｕｐノート数学Ⅱ （工学系大学進学専科）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用のノートを各自用意してください。
問題はまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるのではなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、色を変えて間違えた箇所が分かるようにしてください。解答をしっかりと見て理解をすることは、自分が、どこでつまずいたかを知るために大切なことです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

いろいろな式、図形と方程式及び指数関数・対数関数の考え方についての基礎的な知識の習得と技能を習得します。事象を数学的に考察し表現する能力を培い、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	いろいろな式、図形と方程式及び指数関数・対数関数の考え方に関心を持つとともにそれらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、いろいろな式、図形と方程式及び指数関数・対数関数の考え方における数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式及び指数関数・対数関数の考え方において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式及び指数関数・対数関数の考え方における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題の提出状況 ・ノートの内容　等	・課題の提出状況 ・ノートの内容 ・定期考査 ・小テスト　等	・課題の提出状況 ・ノートの内容 ・定期考査 ・小テスト　等	・課題の提出状況 ・ノートの内容 ・定期考査 ・小テスト　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td rowspan="3">いろいろな式</td><td>整式の乗法･除法と分数式</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a: 多項式の除法、恒等式及び等式や不等式の証明について関心をもつ。
b: 公式の意味を理解し、それらを用いて計算や証明をすることができる。
c: 等式や不等式の性質等を理解して証明をすることができる。
d: 分数式の約分、乗法・除法、加法・減法及び恒等式の性質、等について理解している。</td><td rowspan="3">・出席状況
・定期考査
・提出状況
・小テスト
・観察等</td></tr>
<tr><td>式と証明</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>高次方程式</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">図形と方程式</td><td>点と直線</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a: ２点間の距離、円の方程式、軌跡を求めようとする。
b: 分点の座標の求め方、円と直線の位置関係の調べ方、動点の条件から軌跡が求められることに気付く。
c: 線分の分点、直線の方程式、円の方程式、軌跡の方程式を求めることができる。
d: 分点の公式、直線の方程式、円の方程式、軌跡の方程式について理解している。</td><td rowspan="2">・出席状況
・定期考査
・提出状況
・小テスト
・観察等</td></tr>
<tr><td>円と直線</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td rowspan="2">指数関数と対数関数</td><td>指数と指数関数</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a: 指数、対数に興味を持って取り組むことができる。
b:指数関数と対数関数の性質について考察できる。
c: 拡張された指数の意味や指数法則を理解するとともに、対数計算を行うことができる。
d: 指数関数と対数関数の特徴を理解するとともに、具体的な事象の考察に活用することができる。</td><td rowspan="2">・出席状況
・定期考査
・提出状況
・小テスト
・観察等</td></tr>
<tr><td>対数と対数関数</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。